

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 7 月 11 日(2022.7.11)

【公開番号】特開 2022-16588(P2022-16588A)

【公開日】令和 4 年 1 月 21 日(2022.1.21)

【年通号数】公開公報(特許)2022-011

【出願番号】特願 2021-190213(P2021-190213)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 7 月 1 日(2022.7.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域に設けられた始動入球部と、

前記始動入球部への入球に基づいて特別情報を取得する情報取得手段と、

前記情報取得手段により取得された特別情報を複数記憶可能な取得情報記憶手段と、

前記取得情報記憶手段に記憶されている特別情報が所定の判定情報と対応しているか否かの判定を順次行う判定手段と、

絵柄を可変表示可能な表示部を有し、前記判定手段による判定結果に対応する絵柄を前記表示部にて停止表示させる絵柄表示手段と、

前記判定手段による判定結果が所定の判定情報に対応した判定結果である場合に遊技状態を特別遊技状態に移行させる遊技状態移行手段と、

30

前記取得情報記憶手段に記憶されている前記特別情報の数が記憶上限数に達していない状況下にて前記始動入球部への 1 の入球が発生した場合に保留表示領域にて所定の順で 1 の所定の特定画像が追加表示されるように前記所定の特定画像の表示制御を行う保留表示制御手段と

を備え、

前記保留表示領域の表示形態として、前記取得情報記憶手段に記憶されている特別情報の数を遊技者が認識可能な第 1 表示形態と、前記取得情報記憶手段に記憶されている特別情報の数と遊技に関する情報であって且つ前記数とは異なる所定の遊技情報とを遊技者が認識可能な第 2 表示形態とが設けられており、

40

前記保留表示制御手段は、所定の切替条件が成立したことに基づいて、前記表示形態を前記第 1 表示形態から前記第 2 表示形態に切り替える表示形態切替手段を有していることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、

50

遊技領域に設けられた始動入球部と、
前記始動入球部への入球に基づいて特別情報を取得する情報取得手段と、
前記情報取得手段により取得された特別情報を複数記憶可能な取得情報記憶手段と、
前記取得情報記憶手段に記憶されている特別情報が所定の判定情報と対応しているか否かの判定を順次行う判定手段と、
絵柄を可変表示可能な表示部を有し、前記判定手段による判定結果に対応する絵柄を前記表示部にて停止表示させる絵柄表示手段と、
前記判定手段による判定結果が所定の判定情報に対応した判定結果である場合に遊技状態を特別遊技状態に移行させる遊技状態移行手段と、
前記取得情報記憶手段に記憶されている前記特別情報の数が記憶上限数に達していない状況下にて前記始動入球部への1の入球が発生した場合に保留表示領域にて所定の順で1の所定の特定画像が追加表示されるように前記所定の特定画像の表示制御を行う保留表示制御手段と
を備え、
前記保留表示領域の表示形態として、前記取得情報記憶手段に記憶されている特別情報の数を遊技者が認識可能な第1表示形態と、前記取得情報記憶手段に記憶されている特別情報の数と遊技に関する情報であって且つ前記数とは異なる所定の遊技情報とを遊技者が認識可能な第2表示形態とが設けられており、
前記保留表示制御手段は、所定の切替条件が成立したことに基づいて、前記表示形態を前記第1表示形態から前記第2表示形態に切り替える表示形態切替手段を有していることを
特徴とする。

10

20

30

40

50